

緑区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和6年度）【総括表】

資料 1

◆基本方針別取組状況

【達成状況（自己評価）の目安】 ◎：年度目標以上のものが達成できた ○：年度目標が概ね達成できた △：年度目標の一部が達成できた ×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった

基本方針	重点取組項目		重点取組項目以外の取組項目数	主な取組内容（重点取組項目以外の取組みも含む）
	項目数	達成状況		
1 コミュニケーション （学び・継承・交流・ふれあい・社会参加）	8	◎	3	29 ・子育てサロン、朝のあいさつ運動、研修会等を地域や学校と交流しながら実施した。 ・自治会館等を利用しeスポーツなどを取り入れながらいきいきサロンや、ふれあいカフェを開催した。 ・障害者施設を訪問し学習会の開催や夏祭り等の行事を連携して実施した。 ・福祉教育等への協力として食育支援事業を実施した。 ・小学校にて児童ボランティア参加のもと福祉バザーを実施した。
		○	5	
		△		
		×		
2 緊急時の支援と対応 （災害、防犯と防災、感染症）	2	◎		8 ・町内会を中心に地域で連携し避難訓練や避難所設営訓練、救助救命訓練及び研修会を実施した。 ・町内会単位で自主防災組織の連絡網の整備や防災備蓄品等の確認を行った。 ・民生委員が避難所運営委員会に参画し町内自治会と避難所情報を共有した。
		○	1	
		△	1	
		×		
3 身近な生活支援と連携 （健康、見守り、介護・ボランティア）	6	◎	1	13 ・地域の協力を得ながらパトロールやゴミ出しの手伝い等を実施した。 ・独居高齢者等を見守っていくため、「気になる高齢者」への対象者登録を促したり、名刺型PRカードの配付を行った。 ・町内会や福祉施設等と連携しながら健康体操を実施した。 ・リハビリ専門職を招いた地域住民への健康指導を実施した。 ・スポーツ振興会との共催によりウォークラリーを開催した。 ・あんしんケアセンターが主催する地域ケア会議に参画した。
		○	5	
		△		
		×		
		◎		
		○		
		△		
		×		
今年度の振り返り	16	◎	4	50 コロナ禍が終わり地域活動を再開していく中で、eスポーツの導入など新たな内容を取り込むことにより活動の盛り上がりが見られたところもあれば、参加者が頭打ちになっている活動なども見受けられた。 防災に関しては、幸いにも大きな災害が起こらなかったが、地域で継続して防災訓練や要支援者の救助等について検討を続けていく必要がある。
		○	11	
		△	1	
		×	0	

今後の課題と方針	高齢化により自主参加が難しくなっている活動もあり、参加者を集めるために活動内容や宣伝方法を検討していく必要がある。また、どのエリアにおいても協力者の確保、特に若い世代をどのように取り込んでいくかについては課題となっている。この点については即効性のある解決策はないと思われるが、若い世代に負担の無い範囲での協力を求めたり、子育て世代に歩み寄るといった視点で取り組んでいけるよう図っていきたい。
----------	---

◆区支え合いのまち推進協議会開催状況

回数	開催日	主な議題
第1回	8月31日（土）	令和5年度取組状況及び令和6年度計画の情報共有について 地域での課題について
第2回	3月22日（土）	地域での課題について 広報誌「みどりのきずな」第42号について
第3回		

◆区支え合いのまち推進協議会だより発行状況

号数	発行日	発行部数及び主な配布先
第41号	4月3日（水）	発行部数：3,442部 主な配布先：窓口配布30部、町内自治会、区内小・中学校、公民館等

◆区の地域福祉に関する紹介事例等

（菅田エリア）

菅田町1丁目自治会高齢者声掛け体験

菅田町1丁目自治会では、実際に認知症の方にあった際に、躊躇せずに声をかけられるよう地域づくりを行うと同時に、認知症の理解を深めることを目的として、あんしんケアセンター菅田と連携し、令和6年5月26日（日）、高齢者声掛け体験を実施した。

「どこシル伝言版」のQRコードを付けた認知症役の方に、参加者が声をかけ、QRコードの読み取りを体験した。また、千葉南警察署の協力により、体験会用の仮電話番号に通報する体験も行うことができた。

参加者からは、「実際に体験できて勉強になった」「警察に連絡をするハードルが下がった」という感想もいただけ、体験をする意義があったと感じられた。



緑区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和6年度）個票

【達成状況の目安】
◎：年度目標以上のものが達成できた場合
○：年度目標が概ね達成できた場合
△：年度目標の一部が達成できた場合
×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合
―：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

資料 1

地区部会エリア	基本方針	取組項目	令和6年度		達成状況	令和7年度の目標又は予定	今後の課題と方針
			目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
菅田エリア	1 コミュニケーション（学び・継承・交流・ふれあい・社会参加）	4 障害者（児）・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供	【菅田地区町内自治会連絡協議会】 障害者施設への協力と慰問、家庭の継り施設だけではなく家庭にいる子達との関係、どうしたら街に出てくれるか、民生委員の協力を得る。	【菅田地区町内自治会連絡協議会】 コロナの影響から露店等は止めており今後改めて一丁目や二丁目の神社祭りや夏の盆踊りにも参加できるようにしたい。 （振り返り（感想）） 連絡協議会役員が少し前に出て取り組むように持っていくべきであった。次年度からは協議会もできるため。 令和6年度までは慰問等のみであったが、本年度は祭り等にも参加してもらうよう積極的に働きかけていきたい。（但し菅田二丁目神社の祭り等に露店等出した）	○	【菅田地区町内自治会連絡協議会】 千葉市でも障害福祉サービスにおける地域連絡会議を積極的に推進されるので菅田地区町内自治会連絡協議会としても前向きにやっていく。 各施設からの要望があってから動くのではなく自ら動いていく。理事会でも討議。施設の行事にも要望があれば社協菅田と協力し合っていく。	【菅田地区町内自治会連絡協議会】 障がい者施設との地域連絡会議にいかに取り組むか、また若い人たちに協力してもらえるかも課題である。
【人口・世帯数】 25,044人、11,540世帯 【町内自治会数】 25町内自治会 【高齢化率】 26.0% 【地域の特徴】 産業用地の開発に伴い住宅地の開発が進行。農村地域が広く田畑に囲まれた集落が点在。 避難行動要支援者名簿の提供状況 8自治会			【菅田地区部会】 現在、地区部会で行っている障がい者施設への慰問訪問、施設行事への参加等の中で、障がい者（児）・その家族の状況を把握し、必要としている情報や関係機関を紹介する。また、障がい者（児）を介護する家族が交流できる場や地域住民と交流する機会を設け、その家族を支援する体制づくりに努める。 ・障がい者、障がい者施設等に関する講座、学習会の開催 ・障がい者施設の見学、慰問の実施 ・障がい者施設の行事手伝い及び参加 ・障がい者施設への慰問品の贈呈	【菅田地区部会】 6/22打合せ（12名参加） 年度事業計画の討議、確認 7/15打合せ（14名参加） ・障がい者施設の夏祭り行事のお手伝い及び参加について ・障がい者施設の見学、慰問の実施について ・障がい者、障がい者施設等に関する学習会の実施について ・今年度の慰問品贈呈先、慰問品について 8/3、8/4 夏祭りお手伝い（両日とも7人参加） 9/22打合せ、学習会（13名参加） ・夏祭りお手伝いの報告 ・施設見学先の施設名、日時の決定 ・慰問品贈呈先について ・障がい者、障がい者施設等に関する講座、学習会の開催 10/3障がい者施設訪問、施設状況確認 訪問者（委員長、3副委員長） 11/28障がい者施設の見学、慰問の実施（11名参加） 2/6慰問品贈呈（12名参加） 2グループに分けて4施設を訪問		【菅田地区部会】 ・障がい者、障がい者施設等に関する講座、学習会の開催 ・障がい者施設の見学、慰問の実施 ・障がい者施設の行事手伝い及び参加 ・障がい者施設への慰問品の贈呈	【菅田地区部会】 障がい者（児）が「集う場の開設」については、緑区地域福祉計画に沿った計画であり、今後の課題とする。
		3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	【506地区民生委員児童委員協議会】 ふれあいカフェの開催 月1回(第3月曜日) 菅田団地自治会館	【506地区民生委員児童委員協議会】 毎月開催（年12回） 4/15、5/20、6/3、7/18、8/5、9/2、10/7、11/18、12/2、1/6、2/3、3/3 菅田団地自治会館	○	【506地区民生委員児童委員協議会】 毎月第3月曜日 菅田自治会館 コロナ対策を心がけながらスタッフと協力して実施する。	【506地区民生委員児童委員協議会】
			【507地区民生委員児童委員協議会】 施設での食事会開催協力 ・社協と連携し、高齢者施設に地域住民を招いて食事会を開催する「わくわく食事会」の実施に協力する。 ・いきいきサロンへの協力	【507地区民生委員児童委員協議会】 ・ふれあい食事サービス事業が無くなり、代わりの「わくわく食事会」開設も出来なかった ・507地区民児協内のいきいきサロンは昨年度7地区で延べ82回開催され、延べ参加人数720名、参加ボランティア246名 ・菅田ニュータウンでのいきいきサロン(笑みの会)がR6年度新規開設で動き出した。 ・コロナ前まで開催していた歌声サロンもR7年度再開で動き出した。 （振り返り（感想）） 新規のサロンも動き出しているが、従来のサロンでは新規参加者が増えず参加者が頭打ちになってきた。		【507地区民生委員児童委員協議会】 ・いきいきサロンへの参加人数増加を目指す ・安定した定期開催に繋げていく	現在の参加者も足腰が弱くなって、自力参加が難しくなっている。

緑区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和6年度）個票

【達成状況の目安】

◎：年度目標以上のものが達成できた場合

○：年度目標が概ね達成できた場合

△：年度目標の一部が達成できた場合

×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

―：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

資料 1

地区部会エリア	基本方針	取組項目	令和6年度		達成状況	令和7年度の目標又は予定	今後の課題と方針
			目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
平山エリア	1 コミュニケーション（学び・継承・交流・ふれあい・社会参加）	3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	【平山地区部会】 いきいきサロンの実施)	【平山地区部会】 ・いきいきサロン いきいきサロン 鎌取団地サロン(週 1 回) 鎌取スポーツサロン(週 1 回) 鎌取卓球サロン (週 1 回)	○	【平山地区部会】 ・いきいきサロン 鎌取団地サロン(週 1 回) 鎌取スポーツサロン(週 1 回) 鎌取卓球サロン (週 1 回) 鎌取民謡サロン (月 1 回)	【平山地区部会】 ・他の町内・自治会も実施出来ないか検討 ・サロンの宣伝方法の検討
【人口・世帯数】 7,656人、 3,543世帯			【501地区民生委員児童委員協議会】 平山地区部会「ふれあいいきいきサロン」への更なる支援活動を実施する。	【501地区民生委員児童委員協議会】 ふれあいいきいきサロンの活動は、今年度は2回 eスポーツをした。地域高齢者が何十人も参加して盛り上がるとても良い活動に育ってきている。		【501地区民生委員児童委員協議会】 高齢者福祉委員会は、「ふれあいいきいきサロン」をけやき園・緑苑の施設長も加わった11名で保健センターで実施し活動する。	【501地区民生委員児童委員協議会】 平山地区部会は、令和4年度からの発足であり、地域に合う計画を立てるための各専門部会は、模索しながら活動を始めている。
【町内自治会数】 10町内自治会		5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充	【平山地区部会】 ・子育てサロン	【平山地区部会】 ・子育てサロン 保健福祉センターで(月 1 回)実施	○	【平山地区部会】 ・子育てサロン 保健福祉センター(月 1 回)	【平山地区部会】 ・継続した人員の確保 ・宣伝方法の検討
【高齢化率】 24.4%			【501地区民生委員児童委員協議会】 ・子育てサロンへの協力 ・平山地区部会「ふれあい子育てサロン」への更なる支援活動を実施する。	【501地区民生委員児童委員協議会】 ・平山地区部会と協働で子育てサロンへの協力・運営を行った。 (年10回4月～7月、9月～2月) ・主任児童委員が中心で民生委員・児童委員06と地域協力員で実施し、子育てに関するアドバイスをを行った。 ・新興住宅が増加する中で、ポスティング等のPRが行き届き、参加人数が増え父母同士の交流を深められている。		【501地区民生委員児童委員協議会】 ・主任児童委員が中心で民生委員・児童委員06と地域協力員で実施し、子育てに関するアドバイスをを行う。 ・子育てサロンへの協力をを行う。 (年10回4月～7月、9月～2月) ・平山地区部会と協働で子育てサロンの運営を行う。	【501地区民生委員児童委員協議会】 ・子育てサロンへの協力 ・新興住宅地が増え、参加者が広範囲から来るようになった。 ・乳児が増えたことによって母親や父親同士の情報交換が出来ようになったのでさらに交流を深めるように活動していきたい。
【地域の特徴】 古くからの里山が広がる地域。近年では大網街道沿いで住宅地の開発が進む。							
避難行動要支援者名簿の提供状況 1 自治会							

緑区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和6年度）個票

【達成状況の目安】

◎：年度目標以上のものが達成できた場合

○：年度目標が概ね達成できた場合

△：年度目標の一部が達成できた場合

×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

―：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

資料 1

地区部会エリア	基本方針	取組項目	令和6年度		達成状況	令和6年度の目標又は予定	今後の課題と方針
			目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
おゆみ野エリア			【おゆみ野地区部会】 住住民全体で「子どもは地域で育てる」という意識をもち、子どもたちの集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流等、青少年育成委員会やボランティア団体等と連携しながら推進していく。	【おゆみ野地区部会】 1) 子育てサロンの実施：計10回 ・R6. 5. 21親子の交流16名 ・R6. 6. 12親子あそび（保育士：小田先生の指導による→以下同様）23名 ・R6. 7. 18親子の交流5名 ・R6. 9. 17親子の交流16名 ・R6. 10. 23親子あそび36名 ・R6. 11. 21親子の交流9名 ・R6. 12. 18親子あそび25名 ・R7. 1. 21親子の交流21名 ・R7. 2. 20親子の交流、14名 （千葉市食育推進員による幼児食レシピ紹介、試食） ・R7. 3. 19親子あそび25名 （開催場所：おゆみ野公民館、鎌取コミュニティセンター、緑保健福祉センター） 2) 研修会の実施 ・R6. 8. 22「子どものすこやかな育ちのために～大人ができることを一緒に考えてみませんか？～」 場所：鎌取コミュニティセンター 講師：花澤先生（臨床心理士・公認心理師） 3) こども家庭福祉委員会 その他情報交換等の委員会を開催 4) 地区小学校（おゆみ野南・小谷）「一年生と昔遊び」「お祭り」への協力 （振り返り（感想）） 保育士や臨床心理士等の専門職に依頼することで実のある活動となっている。 また、地域の学校との交流にも努めた。	○	【おゆみ野地区部会】) 子育てサロンの実施：年10回予定 開催時間：午前10時～ ・鎌取コミュニティセンター R7. 5. 20、9. 16、R8. 1. 20 ・おゆみ野公民館 R7. 7. 17、11. 20、R8. 2. 19 ・緑保健福祉センター R7. 6. 11、10. 22、12. 10、R8. 3. 11 2) 講演会・講習会・研修会の企画、参加 年1回程度、時期未定 3) こども家庭福祉委員会 その他情報交換等の委員会の開催 4) 地区小学校「一年生と昔遊び」「お祭り」等への協力をする。 5) 緑保健福祉センター及び地域の子育て関連団体への支援協力と連携をする。	【おゆみ野地区部会】 共に活動する委員や協力者を増やす。
			【５０２地区民生委員児童委員協議会】 「支え合う住みよい社会地域から」の推進 社協おゆみ野地区部会の中核的活動を担うと共に、その他地域関連団体組織との協働により、積極的に地域福祉活動に努める。	【５０２地区民生委員児童委員協議会】 ○地域・学校行事への協力 ・朝のあいさつ運動 毎月1週間実施 ・小中学校校長との懇話会（6/11）および各校との交流会（泉谷中：7/8、泉谷小：6/24、小谷小：6/18）を実施 ・児童・生徒と一緒に花植えを行った。（泉谷小：12/12、泉谷中：12/3、小谷小：12/2） ・昔あそびの伝授（小谷小：1/17） ・おゆみ野四季の道駅伝大会への協力（2/16） ○青少年育成委員会・地域運営委員会等への協力 ・遊歩道足跡ペイント再塗装への協力（6/22） ・おゆみ野探検ウォークラリーは、中止になった。 （振り返り（感想）） 民生委員として、地域との繋がりを持つ活動の重要な内容と考える。 現在の繋がりをより深く強く結んでいく努力をしていきたい。		【５０２地区民生委員児童委員協議会】 ○地域、学校行事への協力 ・担当小中学校校門前で毎月1週間、朝のあいさつ運動の実施 ・担当小中学校校長との懇話会及び交流会において学校内の様子を把握することに努める。（7～9月） ・担当小中学校での「花いっぱい運動」における花植え活動の実施（11～12月） ・おゆみ野地区小学校への昔あそびの伝授（11～1月） ・おゆみ野四季の道駅伝大会への協力（2月） ○青少年育成委員会・地域運営委員会等の諸行事や会議にも協力・参加する。 ・遊歩道足跡ペイント再塗装への協力（6月）	【５０２地区民生委員児童委員協議会】 ・積極的な地域の福祉活動を行うための地域部会活動への協力体制、地域・学校行事への協力体制を、より確立していくこと。

地区部会エリア	基本方針	取組項目	令和6年度		達成状況	令和6年度の目標又は予定	今後の課題と方針
			目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
	1 コミュニケーション（学び・継承・交流・ふれあい・社会参加）	2 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流	【５０８地区民生委員児童委員協議会】 有吉中学校、有吉小学校、扇田小学校を対象に活動を行っている。 あいさつ運動や花植え活動、ピオトープへの協力を行う。	【５０８地区民生委員児童委員協議会】 ・あいさつ運動は、有吉中学校において、４月から翌年３月まで行った。 延べ５５日、参加約５００人。 ・花植えは、小・中学校の生徒と行い、５月は３校で２３人、１１月は２５人。 ・ピオトープは扇田小で行い、延べ５５人の参加。 (振り返り(感想)) 忙しい中、時間を作り参加できた。	○	【５０８地区民生委員児童委員協議会】 ・あいさつ運動の実施 有吉中学校の正門・裏門にて、４～３月まで実施。毎月（８月は除く）５日間行い、延べ５０日、約５００人参加予定 ・花植えの実施 ５～６月、１１月に有吉中、有吉小、扇田小にて実施。延べ約５０人が参加予定 ・扇田小ピオトープへの協力 地域の人達と協力し、ピオトープの管理を行う。参加延べ４５人 ・小中学生の学習支援と子ども食堂の実施。 学習支援は毎週木曜日、子ども食堂は月１回、第３木曜日	【５０８地区民生委員児童委員協議会】 ・あいさつ運動、花植えは参加人数を増やすようにする。 ・学習支援は、地域ボランティアの人たちの協力を得て実施。 ・子ども食堂は緑区の地域活性化事業の支援を得て、早く皆様に知ってもらい食堂に足を運んでもらう。
		5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充	【おゆみ野地区部会】 （再掲） 発育、発達、しつけなど子育てへの不安や悩みなどを抱える親に対して、保健福祉センター等と協力し、相談会、講習会などを開催するよう努める。子育て中の親や子どもが集い、仲間づくりができる場（ふれあい・子育てサロン等）を拡充する。	【おゆみ野地区部会】 （再掲） 1) 子育てサロンの実施：計10回 ・R6. 5. 21親子の交流16名 ・R6. 6. 12親子あそび（保育士：小田先生の指導によるー以下同様）23名 ・R6. 7. 18親子の交流5名 ・R6. 9. 17親子の交流16名 ・R6. 10. 23親子あそび36名 ・R6. 11. 21親子の交流9名 ・R6. 12. 18親子あそび25名 ・R7. 1. 21親子の交流21名 ・R7. 2. 20親子の交流、14名 （千葉市食育推進員による幼児食レシピ紹介、試食） ・R7. 3. 19親子あそび25名 （開催場所：おゆみ野公民館、鎌取コミュニティセンター、緑保健福祉センター） 2) 研修会の実施 ・R6. 8. 22「子どものすこやかな育ちのために～大人ができることを一緒に考えてみませんか？～」 場所：鎌取コミュニティセンター 講師：花澤先生（臨床心理士・公認心理師） (振り返り(感想)) 保育士や臨床心理士等の専門職に依頼することで実のある活動となっている。 孤立しない子育てができるようなアドバイスを心掛けた。	◎	【おゆみ野地区部会】 （再掲） 1) 子育てサロンの実施：年10回予定 開催時間：午前10時～ ・鎌取コミュニティセンター R7. 5. 20、9. 16、R8. 1. 20 ・おゆみ野公民館 R7. 7. 17、11. 20、R8. 2. 19 ・緑保健福祉センター R7. 6. 11、10. 22、12. 10、R8. 3. 11 2) 講演会・講習会・研修会の企画、参加年1回程度、時期未定	【おゆみ野地区部会】 共に活動する委員や協力者を増やす。
			【５０２地区民生委員児童委員協議会】 ・地域部会への協力 子育てサロン年10回、部会の委員として活動し、子育て中の親子が集う場の提供に協力	【５０２地区民生委員児童委員協議会】 子育てサロン10回開催（5/21、6/12、7/18、9/17、10/23、11/21、12/18、1/21、2/20、3/19）		【５０２地区民生委員児童委員協議会】 ・地域部会への協力 子育てサロン年10回、子育て中の親子が集う場の提供に協力。	【５０２地区民生委員児童委員協議会】 積極的な地域の福祉活動を行うための地域部会活動への協力体制、地域・学校行事への協力体制を、より確立していくこと。
			【５１１地区民生委員児童委員協議会】 地域部会への協力 ・子育てサロン10回	【５１１地区民生委員児童委員協議会】 子育てサロン １０回開催・研修会		【５１１地区民生委員児童委員協議会】 地区部会への協力 地区部会の委員として高齢者・子ども家庭が集う場の提供に協力し、地域全体が共に支え合えるまちづくりをめざしていく。	【５１１地区民生委員児童委員協議会】 ・現在、担い手となっている民生員の高齢化に伴い、新しい担い手の確保が必要である。（福祉委員を増やしていく） ・地域住民同士の交流の場の提供・情報を共有する。 ・参加者の募集チラシを配布 ・参加者に企画側に回ってもらい、やりがいを感じてもらう。

地区部会エリア	基本方針	取組項目	令和6年度		達成状況	令和6年度の目標又は予定	今後の課題と方針
			目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
	2 緊急時の支援と対応（災害、防犯と防災、感染症）	12 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備	【おゆみ野地区町内自治会連絡協議会】 地域での防災活動	【おゆみ野地区町内自治会連絡協議会】 各地区九都県市避難所訓練 令和6年8月25日実施 (振り返り(感想)) 年々参加者が多くなっている。	○	【おゆみ野地区町内自治会連絡協議会】 各地区九都県市避難所訓練 ・イオンモール幕張 令和7年8月31日実施予定 ・地域 令和7年8月24日実施予定	
			【502地区民生委員児童委員協議会】 「災害時一人も見逃さない運動」の推進 ・高齢者実態調査、避難行動要支援者名簿、年末の重度心身障害児家庭慰問金配布などの資料を元に取り組み、安全で安心なまちづくりに努める。 ・避難所運営委員会への参画により、災害時の避難所の運営について検討する。	【502地区民生委員児童委員協議会】 ・高齢者実態調査により、高齢者の生活状況を確認することが出来た。また、高齢者や災害時要支援者の最新情報の把握に努めた。 ・令和6年度も、担当地区での台風・地震などの被害はなく、災害対応では特段の活動を必要としない1年であった。 ・避難所運営委員会の会議に積極的に参加した。 (振り返り(感想)) 幸いにも令和6年度は大きな被害を受ける事が無かった。 が、今後起こりうる大災害を想定して、防災に対する意識をより高めていく必要があると考える。		【502地区民生委員児童委員協議会】 ・日常の見守り活動などにより、高齢者や災害時要支援者の最新情報の把握に努める。 ・台風・地震などの災害時は、安全確認や被害・況の把握、情報伝達を行う。 ・避難所運営委員会の会議参加により、災害時における避難所の運営について地区ぐるみで検討する。	【502地区民生委員児童委員協議会】 今後起こりうる大地震・大雨の被害などに対する避難支援体制の強化に向けて、自治会と協力し、具体的な体制作りが必要である。
			【511地区民生委員児童委員協議会】 ・避難所運営委員会に参画・協働 ・避難行動支援者への支援の強化・自治会との連携（サポーター）	【511地区民生委員児童委員協議会】 【避難所運営委員会に運営委員として参画・協働】 ●おゆみ野南小学校（7回） 4/21(土) 6/23(日) 7/13(土) 8/25(日) 10/12(土) 12/7(土) 2/22(日) 11自治会・施設管理者・民生委員5名 内容 避難所解説・運営DVD鑑賞、HUG等の勉強会・備蓄品倉庫確認・会議・避難所開設訓練(九都県市合同)実施 備蓄品棚卸等 ●おゆみ野南中学校 6回 5/11(土) 7/20(土) 9/28(日) 10/27(土) 2/15(土) 2/15(土) 7自治会・施設管理者・民生委員3名 内容 研修会・備蓄品棚卸・会議・避難所開設訓練実施等 ●金沢小学校 4回 6/1(土) 8/25(日) 10/19(土) 2/8(土) 3自治会 施設管理者・民生委員4名 内容 研修会・勉強会・南小避難所開設訓練見学・避難所開設訓練(夜)等 振り返り(感想)) ※各避難所運営委員会に参加し、自治会の方々と連携し、災害時の対応等学び、開設訓練を通して発災時の確認が出来た。 ※自治会の方々と連携強化に努めた。 ※3つの避難所の情報を共有できた。		【511地区民生委員児童委員協議会】 【難所運営委員会に運営委員として参画・協働】 ●おゆみ野南小学校 7回 4/21(日) 6/23(日) 7/13(土) 8/25(日) 10/12(土) 12/7(土) 2/22(土) 11自治会・施設管理者・民生委員5名 内容 避難所解説・運営DVD鑑賞研修会・HUG等の勉強会・備蓄品倉庫確認・会議・避難所開設訓練(九都県市合同)・備蓄品棚卸等 ●おゆみ野南中学校 数回 6/28(土) アリーナ工事、備蓄倉庫増設 予定の為、開催日は未定 7自治会・施設管理者・民生委員4名 内容 未定 ●金沢小学校 数回 5/24(土)・数回予定 3自治会 施設管理者・民生委員4名 内容 研修会・勉強会・南小避難所開設訓練見学・避難所開設訓練・備蓄品棚卸等 ※定例会時に3カ所の避難所運営委員会の現状把握と情報を交換しあい共有する。 ※民生委員が保有する名簿に掲載されている方の優先順位づけ。	【511地区民生委員児童委員協議会】 ・避難行動要支援者へのサポート体制の強化。 ・自治会と連携し平常時からの情報収集や具体的な支援体制の構築。 ・防災知識の普及啓発に努めていく。 (他団体等の研修会に積極的に参加) ・災害に関し、千葉市の最新情報の把握に努める。 ・避難行動要支援名簿を有効に活用
	3 身近な生活支援（見守り・助け合い）	17 健康づくり支援	【おゆみ野地区部会】 健康を保持する活動を保健福祉センター・あんしんケアセンター及び地域の医療機関等の協力を得て、地域の会やイベントの機会を利用して実施する。 ラジオ体操やシニアリーダー体操、健康ウォーキング等への積極的に参加する仕組みづくりを推進し、実施する。	【おゆみ野地区部会】 1)地区部会主催事業（委員交流会）→「健康テレビゲーム体験会」開催 ・委員の他、ふれあい・いきいきサロン（小規模含む）参加者にも声を掛け、いきいきプラザ・いきいきセンターの協力により、リズムゲーム、パズルゲーム、ボーリングの3種類のゲーム機を用いて行った。 2)各委員会の活動の中で、保健福祉センター・あんしんケアセンター並びに地域医療関係等の協力を得て、講演や訪問などを具体的に計画した。 (振り返り(感想)) いきいきプラザ・いきいきセンター等を利用することで専門的な取り組みが実現できた。	◎	【おゆみ野地区部会】 1)地区部会主催事業（委員交流会） ・日常生活における地域の諸問題などに関連した講演会・映画上映会・レクリエーション等を実施し、委員及び地域住民との交流を深め情報を共有する。 2)各委員会の活動の中で、保健福祉センター・あんしんケアセンター並びに地域医療関係等の協力を得て、講演や訪問などを具体的に計画する。	【おゆみ野地区部会】 共に活動する委員や協力者を増やす。

緑区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和6年度）個票

【達成状況の目安】
◎：年度目標以上のものが達成できた場合
○：年度目標が概ね達成できた場合
△：年度目標の一部が達成できた場合

×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合
―：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

資料 1

地区部会エリア	基本方針	取組項目	令和6年度		達成状況	令和7年度の目標又は予定	今後の課題と方針
			目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
椎名エリア	1 コミュニケーション（学び・継承・交流・ふれあい・社会参加）	2 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流	【椎名地区部会】 ・小学校の児童に、地域での助け合い、ボランティア精神の育成 ・小学校の児童に、地域での福祉の役割や福祉に対するの認識を高める授業の実践、SDGsの授業を通して環境への認識や行動力を高める。 ・地区の特性を生かした食育教育を体験させる。 ・地域の伝統文化を継承する。	【椎名地区部会】 ・福祉バザーに小学生が参加 ・福祉出前授業 4年生50名 10/16 ・SDGsの授業 6年生30名、10/18 ・5年生40名 育苗観察4/18、田植え体験5/11、稲刈り9/12、感謝祭2/21 ・羯鼓舞の発表12月 200名以上参加 ・地域の特色を生かした支援の確立	◎	【椎名地区部会】 ・福祉バザーに小学生が参加 ・福祉出前授業 4年生30名 10月 ・SDGsの授業 6年生30名、10月 ・5年生 育苗観察4/15、田植え体験5月、稲刈り9月、感謝祭10月 ・羯鼓舞の発表12月 全校児童、保護者200名以上参加 ・地域の特色を生かした支援の確立	【椎名地区部会】 ・学校との共通理解が必要 ・おゆみ野J A婦人部、民生委員、椎名社協、PTA、学校職員、保護者、ライスセンター職員実施後の話し合い企画
【人口・世帯数】 5,162人、 2,512世帯 【町内自治会数】 18町内自治会 【高齢化率】 24.1% 【地域の特徴】 自然豊かな農村地域で、地域には区画された田園が広がり、集合住宅地はあまりない。 避難行動要支援者名簿の提供状況 2 自治会			【503地区民生委員児童委員協議会】 福祉教育等への協力 椎名地区部会やその他関係団体と連携し、福祉出前授業や食育支援事業を実施	【503地区民生委員児童委員協議会】 ・椎名小学校4年生（40名）を対象とした福祉出前授業 ・椎名小学校5年生（36名）を対象とした食育支援授業 （振り返り（感想）） 食育支援授業では、種まき作業の見学、田んぼに入って田植え、秋の稲刈り等、実際作業を体験 ※生徒さんの喚声が嬉しそう		【503地区民生委員児童委員協議会】 ・椎名小学校4年生（35名）対象の福祉出前授業 ・椎名小学校5年生（37名）対象の食育支援授業（予定内容は昨年と同様）	【503地区民生委員児童委員協議会】 ・福祉の分野は広いので、いろいろな内容を検討して専門職の方の協力を得て継続したい ・食育支援授業に関しては、携わるメンバーの高齢化や協力者の確保に懸念がある
		6 地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承	【椎名地区部会】 コミ懇による福祉バザーの実施 地域住民のふれあい事業	【椎名地区部会】 1/26（土）椎名小学校 13時～15時 10テーブル／児童ボランティア参加 社協理事、町内会長、関係団体、ボランティア 売上約6.6万円 民生委員高齢者活動支援2万円 地区活動費4万円 参加者300人	◎	【椎名地区部会】 1/25（日）椎名小学校 13時～15時 10テーブル／児童ボランティア参加 社協理事、町内会長、関係団体、ボランティア 地域産物の提供を期待 参加人数300人を希望／パンフレットの配布	【椎名地区部会】 ・福祉教育の一環として小学生の体験教育の場としたい

地区部会エリア	基本方針	取組項目	令和6年度		達成状況	令和7年度の目標又は予定	今後の課題と方針
			目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
	3 身近な生活支援（見守り・助け合い）	17 健康づくり支援	【椎名地区部会】 健康講座の開催、食事サービス時の健康相談の実施、ウォーキングの推進	【椎名地区部会】 ・健康体操の会を各町内で実施 20名参加 ・食事サービス時健康体操の実施 20名	○	【椎名地区部会】 ・健康体操の会を各町内で実施 20名参加 ・食事サービス時健康体操の実施 20名	【椎名地区部会】 地域の散歩者の支援
		18 地域の課題解決に向けた連携	【椎名地区部会】 公民館運営及び改築に伴う要望を協議し要望書を提出する	【椎名地区部会】 隔月、関係団体による話し合い実施 市／区行政機関との話し合い開催 20名	○	【椎名地区部会】 隔月、関係団体による話し合い実施 市／区行政機関との話し合い開催 20名	
			【椎名地区町内自治会連絡協議会】 公民館新設に向けた協議 椎名小学校避難所対策（雨漏れ箇所の整備） ＜椎名地区町内自治会＞ 椎名小学校横の緊急車両用道路陥没	【椎名地区町内自治会連絡協議会】 地域関係団体で「椎名公民館新築委員会」を組織し、活動した。 ・市長に全与党と要望書提出 令和6年8月27日 ・住民説明会開催 令和6年12月25日 建設委員会で打合せ市と継続協議中 ・小学校状況聞き取り ・緑土木事務所と協議		【椎名地区町内自治会連絡協議会】 ・学習振興課と協議、受講 公民館内設備 ・防災対策課と協議 他地区との連携	【椎名地区町内自治会連絡協議会】 ・公民館間取り検討 ・高効率化 ・避難所としての公民館検討 駐車場確保
			【503地区民生委員児童委員協議会】 地域福祉活動団体との連携 地域の様々な行事に協力を行う	【503地区地区民生委員児童委員協議会】 ・社協地区部会常任理事会（毎月）に出席し、意見交換する ・歳末独居高齢者宅の訪問 ・椎名地区合同敬老会（9月） バザー（1月） （振り返り（感想）） ・地区部会での意見交換や会合は重要である ・敬老会や高齢者宅の訪問は、元気な姿、顔を拝見する喜びあり		【503地区地区民生委員児童委員協議会】 ・社協地区部会常任理事会（毎月）への出席 ・歳末独居高齢者宅の訪問 ・椎名地区合同敬老会（9月） 米寿・金婚者の記念写真撮影（11月） ・椎名地区福祉バザー（1月）	【503地区地区民生委員児童委員協議会】 ・事業に携わるメンバーの高齢化が進んでいることから、協力者の確保に懸念がある。

緑区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和6年度）個票

【達成状況の目安】
◎：年度目標以上のものが達成できた場合
○：年度目標が概ね達成できた場合
△：年度目標の一部が達成できた場合

×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合
―：達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

資料 1

地区部会エリア	基本方針	取組項目	令和6年度		達成状況	令和6年度の目標又は予定	今後の課題と方針
			目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
土気エリア	2 緊急時の支援と対応（災害、防犯と防災、感染症）	12 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備	【土気地区部会】 ・各地区の自主防災組織による諸活動への協力と地区部会に期待される取組みについての検討に努める。 * 推進員、支援員、さらには活動会員の災害時に備えた意識啓発に努める。 ※災害発生時の状況把握、特に高齢な活動会員の速やかな把握のための連絡体制づくりに努める。	【土気地区部会】 ・1地区の自主防災組織から要請されているが、他からはなく地区部会の取組みとして検討するには至っていない。 * 市防災対策課の出前講座で「災害への備え」について研修したものの、未受講者に資料による自己研修を勧める程度で、会員への対応について検討するまでには至っていない。	△	【土気地区部会】 ・各自主防災組織は災害発生時の対応に力点が置かれがちである。地区部会としては発生前の対応から検討することとする。家具類の転倒防止、備蓄品の保存等 * 出前講座の未受講支援員が準備や心構えについて理解を図るよう機会ある度に確認するとともに会員の意識啓発にも取り組む。 ※各サロンやクラブ等で担当者が中心になり活動会員の状況把握に努める体制づくりをする。	【土気地区部会】 ・自主防災組織からの要請を待つ一方、出前講座を足掛かりにして地区部会として取組み可能な対応について検討する。 * 高齢会員は、意識が高まっても行動化できない方もいる。転倒防止等は必要によっては「助け合い活動」に位置づけていく。 ※日頃の各種活動における出欠席の状況把握を災害時の対応の素地づくりとする。
【人口・世帯数】 43,386人、19,949世帯 【町内自治会数】 46町内自治会 【高齢化率】 32.3% 【地域の特徴】 緑豊かな地域、あすみが丘・地域開発の住宅地、工業団地や農村地域が広がる。都市公園が整備。 避難行動要支援者名簿の提供状況 1 2 自治会			【土気地区町内自治会連絡協議会】 防災組織 □ 防災訓練・備蓄品等の充実 ・家庭において避難場所の確認や防災用品の準備等を行うよう、意識啓発に努めます。 ・地域における防災訓練の充実を図り、地域での意識啓発や避難誘導体制・情報伝達体制の整備、避難行動要支援者名簿の活用、地域諸団体の連携強化に努めます。 ・町内自治会集会所、防災組織の集会所等の施設を活用した連絡拠点の整備、防災備品の充実等に努めます。防災組織 □ 防災訓練・備蓄品等の充実 ・家庭において避難場所の確認や防災用品の準備等を行うよう、意識啓発に努めます。 ・地域における防災訓練の充実を図り、地域での意識啓発や避難誘導体制・情報伝達体制の整備、避難行動要支援者名簿の活用、地域諸団体の連携強化に努めます。 ・町内自治会集会所、防災組織の集会所等の施設を活用した連絡拠点の整備、防災備品の充実等に努めます。 □	【土気地区町内自治会連絡協議会】 ・支援希望者リスト・支え合いカード・協力者リストの更新 ・避難訓練の団地内実施の検討 ・防災訓練の充実 ・避難訓練の町内会内実施。 令和6年度は2回実施 (振り返り) □ ・自治会館内の備チェック等は実施できた。 ・10月中峠集会所において、緑消防署土気出張所の職員からの指導の下、防火防災訓練を実施予定(消火器の取り扱い要領) (梅が丘自治会) ・11月10日土気中央町内会館において班長以上及び一般会員の希望者にて緑消防署土気出張所の協力の下、電話の掛け方、消火器の使い方、防災備品の確認等訓練を実施した。(土気中央町内会) ・12月8日防災訓練実施 ・防災会議3回開催 □ ・大椎中学校での避難所開設訓練参加(説明会含め2回) □ ・あすみが丘8丁目防災防災倉庫備品在庫確認(あすみが丘8丁目町内会) ・9月防災時協力者リスト ・災害時要支援者リスト更新 ・団地内通信を利用して災害時備蓄品の提起(振り返り) ・防災訓練ができなかった。(土気団地自治会) ・自主防災組織の連絡網を整備した。 ・防災研修会の報告を行い簡易トイレの準備を呼びかけた。 ・防災倉庫の棚卸を行った。(振り返り) □ ・防災倉庫の非常食の更新を検討したが、区役所から補助対象外との回答で購入も賛成が得られず実施しなかった。(トーカン住宅土気自治会)		【土気地区町内自治会連絡協議会】 ・再度防災訓練の定期化を図る。 ・10月下旬から11月上旬土気中央町内会館において昨年同様実施予定 ・防災訓練実施 □ ・防災会議開催 □ ・大椎中学校避難所運営委員会開催 ・あすみが丘8丁目防災防災倉庫備品在庫確認 □ (あすみが丘8丁目町内会) ・6月緑区避難所運営委員会研修に参加 ・災害時に備えての意識啓発を掲示板や団地だよりを通して行う ・避難訓練を実施する上げの情報収集 ・令和8年2－3月に役員組織改定に伴い、令和8年度自主防災組織の連絡網を整備し総会で共有する。 ・総会で防災研修会の報告を行い、防災意識啓発を図る。 ・新規入居者に自主防災組織の連絡網を配布し避難所情報を伝える。	【土気地区町内自治会連絡協議会】 ・訓練内容のマニュアル化を考慮する。 ・町内会の役員が出席する会議が、大変多く、町内会行事に参加すると、仕事が犠牲になり状況によっては収入が減る。 ・団地内避難訓練がされていない現状で過去にノウハウがあったかも不明 ・過去の自治会役員に聞いたり資料がないか探してみる。 ・令和8年2－3月に役員組織改定に伴い、令和8年度自主防災組織の連絡網を整備し総会で共有する。 ・総会で防災研修会の報告を行い、防災意識啓発を図る。 ・新規入居者に自主防災組織の連絡網を配布し避難所情報を伝える。 ・現在、女性の災害対策専門委員が欠員となっているので、女性目線での対応検討の為に、早急な候補者探しを行っていく。□ □ ・備蓄倉庫の在庫調査と整理整頓 ・避難行動要支援者対応方針の決定(まずは、出来そうな事項の検討)

地区部会エリア	基本方針	取組項目	令和6年度		達成状況	令和6年度の目標又は予定	今後の課題と方針
			目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
	2 緊急時の支援と対応（災害、防犯と防災、感染症）	12 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備	□	<p>1. 避難所運恵右委員会運営の向上を図る町内会独自の「災害対策専門委員会」を8/4と8/11の2回（参加人員6名）を行い8/25開催の避難所開設訓練に臨んだ。□</p> <p>・避難所、部屋、備蓄倉庫及び非常用井戸設備等の巡回と同時に建物の安全確認を行う一方、体育館で避難者受付、避難所設営等の実施訓練を行った。</p> <p>・非常用井戸の水質確保のため隔週での揚水を継続実施 □</p> <p>2. 町内会を構成する5組の防災隊による避難訓練を11/30実施参加人員40名</p> <p>・消防署の協力を得て、消火訓練、煙テント体験、救急救命訓練を体験した。（振り返り）</p> <p>1.2. 項共に、従来から行っており参加体験が有効になると考えます。（土気南中央町内会）</p> <p>・資料に基づき家庭において避難場所の確認や防災意識の啓発</p> <p>・災害時における役員間の情報を万全にする。（美空台自治会）</p>	△	<p>・共同運営しているあすみが丘4丁目自治会と連携し、継続開催していく。</p> <p>・手狭になっている備蓄倉庫の検討を行う。 □</p> <p>・災害対策専門委員の県主催講習会への参加と、欠員になっている、女性委員探しを行う。</p> <p>・防災隊の連度向上を図っていく。□</p> <p>□</p> <p>・資料に基づき家庭において避難場所の確認や防災意識の啓発 □</p> <p>・災害時における役員間の情報を万全にする。（美空台自治会）</p>	
			<p>【509地区民生委員児童委員協議会】</p> <p>・避難行動要支援者へのサポーター作り（新規）</p> <p>・民生委員自身の意識高揚</p> <p>・住民への啓蒙活動</p>	<p>【509地区民生委員児童委員協議会】</p> <p>・掲載されている対象者数が500名と非常に多く優先すべき対象者の絞り込を行うことが必要と判断し、優先順位付けを行っている。</p> <p>・定例会等で討議の継続を行い、将来の実践に備えた。</p> <p>・一人の住民として委員も、取組の重要性の勉強</p>		<p>【509地区民生委員児童委員協議会】</p> <p>・「支え合いカード」の作成してくれる住民を発掘し、徐々に増やすこと</p> <p>・町内自治会が抱える悩みなどの把握</p> <p>・継続した委員への啓蒙活動の実施</p>	<p>【509地区民生委員児童委員協議会】</p> <p>・行政機関、町内自治会との打ち合わせを通じ、有効活用できるようにしていくこと。</p> <p>・避難所運営委員として活動する委員が名簿を有効活用できるようにすること。</p> <p>・関係機関の意見の聴取と見直し</p>
			<p>【510地区民生委員児童委員協議会】</p> <p>災害時の対応</p>	<p>【510地区民生委員児童委員協議会】</p> <p>独居高齢者に対して、災害時の非常食として配布を図る取組でしたが、不実施でした。</p>		<p>【510地区民生委員児童委員協議会】</p> <p>災害時の対応として、避難場所の確認をもれなく行いたい。</p>	<p>【510地区民生委員児童委員協議会】</p> <p>高齢者が自力で避難場所まで行けるか不安がある。</p>
	3 身近な生活支援と連携（健康、見守り、介護、ボランティア）	16 見守り活動の推進	<p>【土気地区部会】</p> <p>・助け合い活動と関連する活動として位置づけて一人暮らしで孤立気味の高齢者を定期的な調査結果などを足掛かりに把握する。</p> <p>・閉じこもり→老化→要支援→要介護の流れの断ち切りと改善の必要性について理解を図る。</p> <p>・困り事を気軽に打ち明けられる土壌づくりこそ基礎になるという認識で、普段の交流の拡充と既存の活動の紹介に努める。</p>	<p>【土気地区部会】</p> <p>・3自治会の活動に支援役として参加、運営補助金でも支援する。</p> <p>・大椎台一対象者1名、協力者15名をグループ2,3人に分け、外部からの観察を毎日実施、地域のパトロールも実施</p> <p>・大木戸台一対象者10名、協力者6名で週2回実施、ゴミ出しの手伝いを同時実施</p> <p>・あすみ第一一対象者9名(外部観察8、直接会話1)協力者17名、5ブロックに分けて月1,2回実施 ※非希望該当者48名、さりげない見守り実施</p> <p>* 地区による対象者の増減という相反する状況の発生要因を検討する。</p>	○	<p>【土気地区部会】</p> <p>・3地区の支援事業として取り組む一方、他地域でも発案者や協力者が出るよう働き掛ける</p> <p>・既存の防犯パトロールなども足掛かりに、見守りパトロールや見守り活動へと進展できないか働き掛ける。</p> <p>・見守りだけでなく、軽度の困り事にも対応して孤立の防止に加えて安心づくりや交流づくりにも努める</p> <p>・アンケート調査による希望者の割り出しが期待されるが、対象者の複雑な思いを考慮して実益が感じられる活動にする</p> <p>・見守りとゴミ出しは、孤立の防止や困り事の手助けになるので両者のセット化を奨励する。</p>	<p>【土気地区部会】</p> <p>・地域の歩みや高齢化率に違いがあるので見守り活動の必要度の高い地域の割り出しとして、推進員在住地区の民生委員の調査などを参考にまずは把握していく。</p> <p>・見守りだけでなく、軽度の困り事にも対応して孤立の防止に加えて安心づくりや交流づくりにも努める</p> <p>・新たな活動を組織する負担感を薄めるために既存の活動を活用する是非について検討する。</p>
			<p>【509地区民生委員児童委員協議会】</p> <p>・地区の見守り活動団体との連携</p> <p>地域で行われている見守り活動団体と連携し、地域での見守り活動への協力を行う。</p> <p>・出産を控えた母親、新生児を持つ親との関係作り（将来の虐待の予防 新規）</p>	<p>【509地区民生委員児童委員協議会】</p> <p>・あすみが丘第一自治会の「見守り隊活動会議」に担当民生委員が会議に参加し、情報提供やアドバイス等を行う一方、見守り対象者登録を行っていない「気になる高齢者」への対象者登録の呼び掛けを行っている。（会議参加者は、約10名）</p> <p>・非常にデリケートなテーマ内容で、慎重な検討が必要な為、当分の間、棚上げとした。</p>		<p>【509地区民生委員児童委員協議会】</p> <p>・後期高齢者化の進展が著しい地区でもあり、見守り対象者への新規登録の勧誘活動を継続して実施していく。</p> <p>・核家族化が進む中、遠隔地に居住する独居者家族への対応方法のアドバイス強化</p> <p>・当面の間、棚上げとする。</p>	<p>【509地区民生委員児童委員協議会】</p> <p>・自治会の正式認定を受けていない為、見守り隊への理解が低く、隊員の士気維持の手助けの検討</p> <p>・遠隔地に住む家族が地元への過度な依頼心への対応方法の検討が必要</p> <p>・一人で悩ませない体制作りが目標だが構築は非常に高いハードルがある。</p> <p>・手伝って頂けるボランティア団体探しも必要</p>

地区部会エリア	基本方針	取組項目	令和6年度		達成状況	令和6年度の目標又は予定	今後の課題と方針
			目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
	3 身近な生活支援と連携（健康、見守り、介護、ボランティア）	16 見守り活動の推進	【510地区民生委員児童委員協議会】 独居高齢者への見守り	【510地区民生委員児童委員協議会】 独居高齢者のみでなく、希望する高齢者にも名刺型PRカードの配布を行った。	○	【510地区民生委員児童委員協議会】 独居高齢者への見守りは、実態調査時に聞き取り対応を考える。	【510地区民生委員児童委員協議会】 独居高齢者が、自宅内で倒れた時に連絡の方法に不安がある。
			【土気地区町内自治会連絡協議会】 一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、体に障害のある方などの見守りを希望する人に対して、地域住民による訪問・声掛け等を行います。 社会的孤立を防ぐため、挨拶運動など、住民同士が日常生活のなかで無理なく行える見守り活動を実施します。	【土気地区町内自治会連絡協議会】 ・令和6年度の新規募集を図るも、参加者なく、今年度も引き続き、見守り対象者：8名、見守り協力員：17名で、令和5年度と同様の活動を展開する。 □ ・一人住まいの方への見守りパトロール「外部からの見守り」の実施。独自リスト37名（あずみが丘第一自治会） ・民生児童委員と協力し、子供の見守り、高齢者への定期的な声掛け訪問などの仕組み作りを検討した。 ・継続して8丁目いきいきサロンを開催してコミュニケーションを図った。 （あずみが丘8丁目町内会） ・納涼会や集会所清掃（1回/月）一斉清掃のイベントを行い住民同士の関係を深め、困りごとを気軽に打ち明けられる土壌づくりをする。 （土気住宅自治会） ・民生児童委員と協力し子供の見守り、高齢者への定期声掛け訪問の仕組みを構築する。 （振り返り） 町内会役員会で定期的な話し合いを行ったが具体的な方法が確立できない。 （土気町内会） ・民生児童委員と協力し、子どもの見守り、高齢者への定期的な声掛け訪問などの仕組み作りの検討（土気団地自治会） ・独居高齢者や高齢者世帯への声掛けや、見守り訪問が十分に行えなかった。 （トーカン住宅土気自治会） ・学童の登下校時における見守り積極的な挨拶 当自治会は子育て世帯が多いことから、見守り活動等の実施時に大人から積極的に挨拶を行う □ ・青色防犯パトロールの効果的な実施（振り返り） □ 子どもたちの元気な声がする自治会なので、まず大人から積極的な挨拶が大事です。子供たちも元気に挨拶をしてくれます。 （美空台自治会）		【土気地区町内自治会連絡協議会】 ・民生児童委員と協力し、子供の見守り、高齢者への定期的な声掛け訪問などの仕組み作りを継続して検討する。 ・継続して8丁目いきいきサロンを開催してコミュニケーションを図る。 ・当自治会は歴史も古いので、旧来の向こう3軒両隣精神を復活させ、組長、班長等にて定期的な訪問を具体化する。 ・今年度、本項目の活動の予定は無し □ ・学童の登下校時における見守り積極的な挨拶 当自治会は子育て世帯が多いことから、見守り活動等の実施時に大人から積極的に挨拶を行う ・青色防犯パトロールの効果的な実施 □	【土気地区町内自治会連絡協議会】 ・人材の確保 ・他の団体と連携を図る。 ・自治会の退会者の増加を防ぐには、如何にすべきか □
			【土気地区部会】 ・公的機関や専門家による地域住民への直接的指導、推進員と支援者の専門性を補う研修を通して確かな取組みができるようする。 ・活動会員だけでなく、多くの住民が参加できる事業により、交流の場を拡大するとともに心と身体の健康づくりができるようにする。	【土気地区部会】 ・各サロンで保健福祉Cにより年1回、あんしんケアCにより2年に1回指導を受ける。 リハビリ専門職及びいきいきセンターによる指導は希望により随時受ける。 ・健康講演会―保健福祉C推奨講師、全住民対象だが講師の都合により中止 ・ボランティア研修会…シニアリーダーによる健康体操実施 ・昭和の森ウォークラリー…連協、スポーツ振興会との共催で全住民対象、恒例行事として11/23に実施、乳母車利用者から高齢者までが参加できるコース等の設定	○	【土気地区部会】 ・各公的機関の特性に基づいた指導によりサロン活動の充実を図るとともに、会員が日々の生活を見直しする機会とする。 ・健康講演会―保健福祉C推奨講師による講演会、対象は全住民とする。 ・ボランティア研修会―シニアリーダーによる健康体操を研修し、高齢化が進んでいる中での各種活動に取り込んでいく。 ・昭和の森ウォークラリー―子供から大人200+50人の参加を想定し、多彩な活動と交流による「きずな」づくりに努める。	【土気地区部会】 ・各サロンで受けた指導による取組み状況を情報交換して各活動や個々の生活の改善を図り、一層の健康づくりに努める。 ・活動の自粛に伴い表面化したフレイルの防止には複数の側面がある。心身の健康づくりのために、本会の活動だけでなく他団体の活動への参加も勧め、各機能の低下の防止や治療に役立てられるようにする。
		18 地域の課題解決に向けた連携	【504・505・509・510地区民生委員児童委員協議会】 地域ケア会議への参加 地域ケア会議（見守りネットワーク土気会議）に参加し、地域の課題解決に向けた連携を行う。	【504・505・509・510地区民生委員児童委員協議会】 ・積極的に意見交換やアドバイスを述べた。 ・地域内の問題点・状況の共有、関係専門機関と連携強化を図ることができた。	○	【504・505・509・510地区民生委員児童委員協議会】 ・月1回の「見守りネットワーク会議」に参加し、地域の関係機関と連携し情報共有 ・非常に有意義な会議であり、継続参画していく。	【504・505・509・510地区民生委員児童委員協議会】 ・今後も継続参加し、地域のために情報交換し 共有し合いながら福祉関係の点で力を注ぎたい ・地域の足の問題等の声に応えるためにも利用の推進と啓蒙を継続していく ・高齢者が元気で健康で生活できる社会参加にこれからも力を注ぎたい
			【505地区民生委員児童委員協議会】 地区内の町内自治会との関係の緊密化 【510地区民生委員児童委員協議会】 高齢者への声かけ	【505地区民生委員児童委員協議会】 町内自治会長会議への参加が日程の都合で途中からできなくなった。 【510地区民生委員児童委員協議会】 いきいきセンターやあんしんケアセンターへ繋ぐことができた。		【505地区民生委員児童委員協議会】 新たな協力のあり方を確率する。 【510地区民生委員児童委員協議会】 高齢者実態調査等で不安が残る高齢者には定期的に見守りし必要な支援機関へ繋いでいく。	【505地区民生委員児童委員協議会】 比較的継続性のある民生委員と頻繁に交代する町内自治会長との認識のズレが生じやすい点をどのように埋めていくか。 【510地区民生委員児童委員協議会】 定期的な声掛けをしていく。